

## 2017 年度 小委員会活動成果報告

(2018 年 2 月 10 日作成)

小委員会名	鉄筋コンクリート造建築物の収縮ひび割れ制御指針改定小委員会	主 査 名：野口貴文 就任年月：2016 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (鉄筋コンクリート工事運営委員会)	委員長名：早川光敬 主 査 名：橋高義典
設 置 期 間	2016 年 4 月 ～ 2018 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>                     本会発刊の鉄筋コンクリート造建築物の収縮ひび割れ制御設計・施工指針(案)・同解説(以下、収縮ひび割れ指針)についての改定を行う。改定に際し、最新の知見を反映したモデルコードの改善、床部材のひび割れ制御についての追記、改善を行う。また、現在執筆作業が進められている「膨張材・収縮低減剤を使用するコンクリートの調合設計・製造・施工指針(案)」の内容を反映させる。  <b>初年度</b>：最新知見および状況の調査、指針改定の方針決定、本文改定案の検討・執筆  <b>2年度</b>：指針本文・解説の査読および修正、指針出版、講習会実施                 </p>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無	
	主査 野口貴文(東京大学) 幹事 丸山一平(名古屋大学) 委員 今本啓一(東京理科大学)、寺西浩司(名城大学) 寺本篤史(広島大学)、閑田徹志(鹿島建設) 橋田 浩(清水建設)、井上和政(竹中工務店) 黒岩秀介(大成建設)、都築正則(大林組) 辻埜真人(清水建設)、三谷 裕二(太平洋セメント) 中山英明(三菱マテリアル)、齊藤和秀(竹本油脂)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2017 年度予算	500,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	昨年度と同様に、委員の日程が合わなかったり、予定していた会議日程を変更せざるを得ない状態が生じたりしてしまい、会合の開催数が減少したため、本文案を完成させることができなかった。また、収縮ひび割れ予測手法の実建築物への適用方法に関する議論が収束していないことも、遅延を生じた大きな原因である。今後、議論を収束させ、改定本文案に関する検討を鋭意進め、次年度は解説の執筆にとりかかる予定である。
委員会活動の問題点・課題	一度予定していた日程が変更になると、順次遅れが生じてしまうため、確定した日程での会合は必ず開催する必要がある、今後は、スケジュールの計画と管理をしっかりと行い、2ヶ月毎に会議を開催するよう心掛ける必要がある。

\*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。